

我が国における慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease : CKD）患者に関する臨床効果情報の包括的データベースを利用した縦断研究

1. 研究の対象

西暦 2014 年 1 月 1 日 ~ 西暦 2028 年 12 月 31 日の間に受診した CKD 患者さん

2. 研究目的・方法

慢性腎臓病（CKD）の進展による末期腎不全患者（ESKD）数は未だに増加の一途を辿っています。我が国の透析患者数は 32 万人に達し、透析医療費も 1 兆 5000 億円を越えています。また CKD は透析や腎移植を要する ESKD の予備軍であるのみならず、心血管疾患や認知症発症の危険因子でもあります。CKD は本邦成人の 10-12% (1000 万人以上) が罹患していると推計されており、その成因には生活習慣病と高齢化が関与するため、今後も増加することが危惧されています。CKD は国民の健康維持の重大な脅威であり、健康寿命延伸の大きな阻害因子となっています。そのため、CKD の進展機構の解明、および予防・治療戦略の構築を目的とします。

研究方法は日本腎臓学会が主導で行い本学も参加している研究である「我が国における慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease : CKD）患者に関する臨床効果情報の包括的データベースの構築に関する研究」(J-CKD-DB) で大規模データベースの構築に成功しており J-CKD-DB に継続して拡充をしているデータベース・システムを用いで行います。具体的には本学も含めた全国の研究参加施設を受診された CKD 患者さんの情報を電子カルテシステムから抽出した後、J-CKD-DB 事業事務局データセンターの大規模データベース・システムに集積し、そのデータから CKD の診療実体および臨床経過に関するさまざまな解析・検討を行います。

研究期間は倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、データセンターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

J-CKD-Database 公式ホームページ <http://j-ckd-db.jp/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先まで
お申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2343

内分泌代謝・腎臓内科学講座

堀野太郎

研究責任者：

内分泌代謝・腎臓内科学講座

寺田典生

研究代表者：

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学講座

柏原直樹